2024さまに防災塾第3弾

防災備蓄庫と紅葉の幌満峡巡り

～地形地質と災害のかかわりを学ぶ～

参加無料
定員30名

日　時　令和6年11月2日(土)
午前8時30分～12時

集　合　中央公民館前(8時20分まで)

コース　鵜苫神社～等澍院～ソビラ荘～旧オリビン採石場～幌満峡

町では今年度、自然災害や防災について、座学と町内を巡る野外ツアーを組み合わせた連続講座を開催しています。

その第3弾として、一昨年より町が整備を進めている防災備蓄庫の場所を巡りながら、地形地質と災害のかかわりを学ぶとともに、さまにの歴史や産業、自然に触れるバスツアーを開催します。

今年の幌満峡の色づきはどうでしょうか？一緒に秋の散策を楽しみませんか？小雨決行です。

参加を希望される方は、10月29日までに裏面の末尾へ電話もしくはメールにてお申し込みください。

共催　様似町、様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会

協力　日高振興局、室蘭地方気象台、室蘭建設管理部、アポイ岳ジオパークガイドの会

防災備蓄庫と紅葉の幌満峡巡り
散策ルート

鵜苫神社
境内に整備した防災備蓄庫を見分した後、今年大きく動いた境内付近での大規模な地滑りについての状況と、その対策工事の概要を聞きます。

蝦夷三官寺・等澍院
最大津波でも浸水しない町の指定避難所はどこどこにある?また、さまにを語るうえで欠かせない等澍院の歴史についても学びます。

特別養護老人ホーム・様似ソビラ荘
町内唯一の指定福祉避難所となっているソビラ荘。その高台から様似川流域を眺めて、地形から見る洪水リスクを学びます。裏山には、来年備蓄庫も整備予定です。

東邦オリビン工業・旧採石場
アポイ岳を形づくっている「かんらん岩」を工業製品として出荷している東邦オリビン工業㈱。その旧採石場にも備蓄庫があります。旧採石場の上から幌満峡入口を眺めて、かんらん岩の渓谷・幌満峡の成り立ちを学びます。

幌満峡(ゴヨウマツ記念碑まで)
かんらん岩の渓谷・幌満峡は10月末から11月上旬にかけて美しく彩ります。普段立ち入ることの少ない名勝をゆっくりバスで巡ります。

【申込・問合先】 様似町役場総務課
☎0146−36−2111
e-mail samani.chou@samani.jp